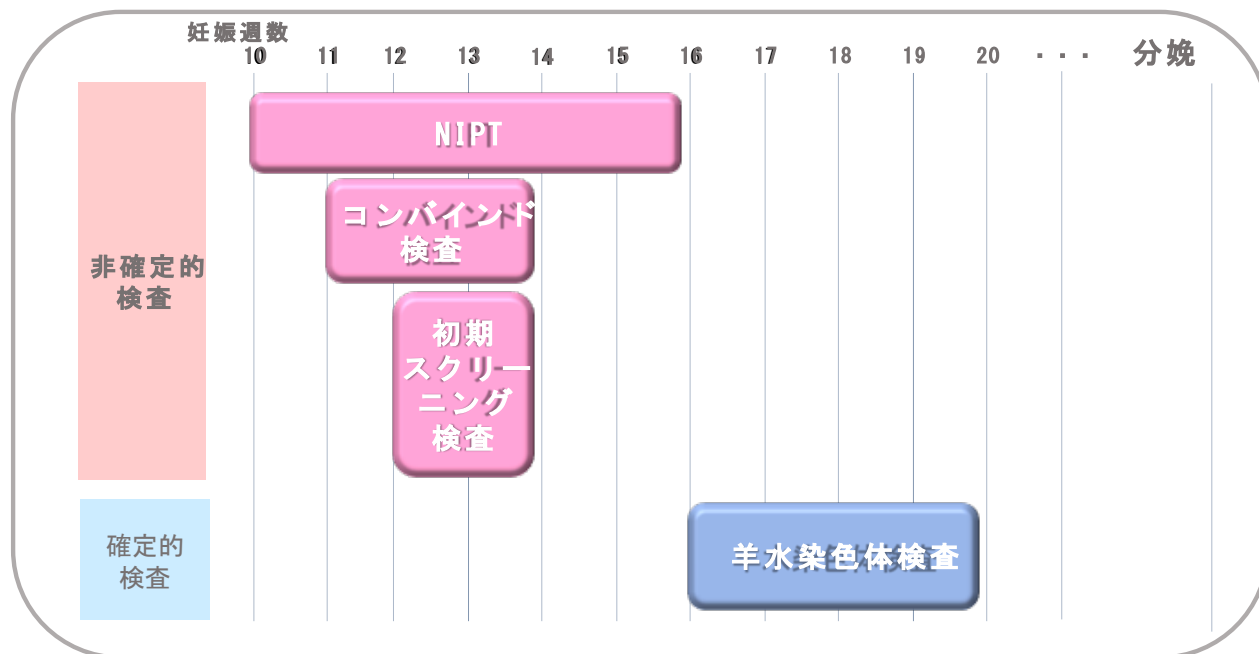


# ★出生前診断のご案内★

当院では出生前診断を専門外来で行っています。赤ちゃんのご心配が強い方、高齢妊娠がご心配な方、相談のみもお伺いしますので、ぜひご検討ください。

各検査を下記にご案内します。



## 【各検査の特徴】

### ① NIPT(非侵襲性出生前遺伝学的検査)

母体血を約10ml採取し、妊婦さんの血液中に浮遊しているcfDNA(染色体が細かく分解された断片)を分析して、21トリソミー(ダウン症候群)、18トリソミー、13トリソミーの可能性を分析します。この検査はカウンセリングが必要になります。原則としてカップルで受診してください。精度が高い検査ですが、確定診断ではありません。結果はそれぞれの疾患に対して「陽性」、「陰性」、「判定保留」と報告されます。確定診断には羊水検査が必要です。

当院は、日本医学会でNIPTの施設認証を受けています。患者さんが希望する場合や検査結果の評価が難しい場合は、当院の小児科専門医や、基幹施設である順天堂大学医学部附属順天堂医院の臨床遺伝専門医によるカウンセリングを受けることができます。別途NIPTの資料も併せてご覧ください。

### ② コンバインド検査

超音波検査による赤ちゃんの首の後ろのむくみ(NT:Nuchal Translucency)の厚さの計測値と、母体採血による血清マーカー(PAPP-A, free $\beta$ -HCG)値を組み合わせ、21トリソミー(ダウン症候群)と18トリソミーのリスク値を計算します。NTはどの胎児にもみられる所見ですが、正常範囲と比較して厚い場合は染色体異常や心疾患などの病気を持っている可能性が高くなると言われています。しかしNTが厚いだけで必ず病気があるわけではありません。採血を組み合わせることで検査の精度は高くなります。それぞれの疾患に対して、リスク値がカットオフ値より高い場合は「陽性」、低い場合は「陰性」と報告されます。確率の検査でありこの結果が確定診断ではありません。確定診断には羊水検査が必要です。

超音波計測は FMF (Fetal Medicine Foundation) 認定の NT 資格保持者が担当します。超音波検査時には初期スクリーニング検査も行います。

### ③ 初期スクリーニング検査

妊娠初期の赤ちゃんの形態異常の有無を観察します。トリソミーのリスク判定を希望する方は NIPT を併せて受験するか、コンバインド検査を受けてください。時期が早いのですべての形態異常はわかりません。

### ④ 羊水染色体検査

お腹に針を刺し羊水を採取して胎児の染色体を分析します。侵襲的検査であり合併症として流産、破水、出血などがあります。流産率は約 0.3%と報告されています。全ての病気を診断することはできませんが、胎児の染色体の変化である染色体異常を診断します。

#### 【受診方法について】

出生前診断外来：火曜 14 時～をご予約下さい。(要相談で月午後あり)

- 妊婦健診受診時に担当医にご相談ください。
- 出生前診断外来でカウンセリングを行った上で検査を受けるかどうか決めて頂くこともできます。
- 外来予約センターでも予約を受け付けています(羊水検査は不可)。クアトロテストは予約なしでも受けられます。

検査名	実施時期	検査方法	結果説明	金額(税込み)	
				単胎	双胎
<b>【外来】</b>					
NIPT	10週0日～15週6日	採血	10日後	132,000 円	242,000 円
NIPT+ 初期スクリーニング	12週0日～13週6日	採血+超音波	10日後	148,500 円	165,000 円
初期スクリーニング	12週0日～13週6日	超音波	当日	20,000 円	40,000 円
コンバインド	11週0日～13週6日	採血+超音波	2週間後	38,500 円	60,500 円
<b>【入院】</b>					
羊水染色体検査	16週以降	羊水穿刺	3週間後	約170,000 円	約240,000 円
				約100,000円	

- ◇ NIPT が陽性の方は染色体検査の費用は掛かりません。入院費・材料費等のみかかります。
- ◇ 受診時と結果説明時には、それぞれ別途カウンセリング料 5,000 円(税抜)がかかります。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

出生前診断外来担当：産婦人科 医師 田中 沙織  
社会福祉法人賛育会 賛育会病院 産婦人科

2023 年 6 月 23 日 改訂